

《担当者名》○鈴木英樹 長谷川純子

【概要】

日常生活活動（動作）の評価と支援は理学療法士にとって重要な役割の一つである。本講義においては、日常生活活動についての基本的概念や、様々な日常生活における諸動作及び活動の意味を理解するとともに、日常生活活動に関する様々な評価手法を学ぶ。また、国際生活機能分類（ICF）についての理解を通じて、理学療法士として実践的な日常生活活動に関する技術や知識を習得する。

【学修目標】

一般目標

日常生活動作（活動）の具体的内容や支援方法を理解するために、ICFや日常生活活動の具体的内容、評価及び指導方法を理解する。

行動目標

1. 日常生活活動の基本的概念を説明することができる。
2. 日常生活における諸活動の意味について説明することができる。
3. 日常生活活動に関する評価手法について理解し説明することができる。
4. ICF概念について理解し説明することができる。
5. 日常生活活動と関連させ、生活関連活動の評価手法について理解し説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	暮らしの中での日常生活活動学と学ぶ意義	・オリエンテーション ・暮らしの中での日常生活活動の意味、ADLとQOL及びICFとの関連性について	鈴木英樹
2	日常生活活動の意味 ～起居動作	・日常生活における起き上がりや立ち上がりといった起居動作の意味	鈴木英樹
3	日常生活活動の意味 ～移動動作	・日常生活における歩行をはじめとした移動動作の意味	鈴木英樹
4	日常生活活動の意味 ～排せつ動作	・日常生活におけるトイレ動作をはじめとした排せつ動作の意味	鈴木英樹
5	日常生活活動の意味 ～食事動作	・日常生活における食事動作の意味	鈴木英樹
6	日常生活活動の意味 ～入浴動作	・日常生活における入浴動作の意味	鈴木英樹
7	日常生活活動の意味 ～更衣及び整容動作	・日常生活における更衣及び整容動作の意味	鈴木英樹
8	日常生活活動の評価	・日常生活活動の評価方法（Barthel index）について理解	鈴木英樹
9	日常生活活動の評価	・日常生活活動の評価方法（FIM）について理解	鈴木英樹
10	日常生活活動の評価	・日常生活活動の評価方法（ICF）について理解	鈴木英樹
11	移動動作指導	・T字杖及び松葉杖の調整方法及びメンテナンス方法についての理解	鈴木英樹
12 ） 13	移動動作指導	・車椅子の操作、介助及びメンテナンス方法についての理解	鈴木英樹
14	生活関連動作とその評価	・生活関連動作とその評価方法について理解	鈴木英樹
15	まとめ	・15回の講義を振り返り、理学療法（士）と日常生活活動の関連性について理解を再確認	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 70%

講義中の課題 30%

定期試験及び追再試験、問合せがあった場合には模範解答を提示する。

【教科書】

柴 喜崇 他 編 「PT・OTビジュアルテキストADL第一版」羊土社 2015年

【参考書】

伊藤利之 他 編 「新版 日常生活活動（ADL）～評価と支援の実際～」 医歯薬出版 2010年

尿管・下水研究会 編著 「トイレ」 ミネルヴァ書房 2016年

齋藤宏他 著 「姿勢と動作 第3版」 メヂカルフレンド社 2010年

千野直一 他 編 「脳卒中の機能評価SIASとFIM（基礎編）」 金原出版 2012年

障害者福祉研究会 編 ICF 国際生活機能分類 国際障害分類改定版 2002年

【備考】

講義の際には名札を着用して下さい。

また、移動動作指導 の際には動きやすい服装で臨んで下さい。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで理解しておくこと（80分）。

復習は、教科書や配布プリントなどを活用し、学習を深めておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP2）最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。

【実務経験】

鈴木英樹：理学療法士、認定理学療法士（補装具）、専門理学療法士（生活環境支援）、介護支援専門員

長谷川純子：理学療法士、福祉住環境コーディネーター1級

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、訪問リハビリテーション及び行政での勤務経験を踏まえ、人々の生活を支援するための生活活動（生活動作）についての基本的な考え方や視点、さらには支援方策について具体的に講義を行う。